

平成 28 年度 県立足柄高等学校学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒が自ら課題を発見し、探究する意欲を高めることのできる教育課程編成に取り組む。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、一人ひとりに応じた教科指導体制の構築と評価法の研究を行い、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①個の特性に応じた学びのための教育課程の改善に取り組む。</p> <p>②組織的な授業改善として、生徒の主体的な学びを引き出す授業展開について研究する。</p>	<p>①選択科目の見直しや学校設定教科・科目を置くことで、教育課程上のUD化を進める。</p> <p>②主体的な学びを授業研究のテーマとして取り上げ、具体的な取り組みによって組織的な授業改善を行う。</p>	<p>①教育課程の改訂を行うことができたか。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出す授業展開について、研究授業や研究協議を行うなど、具体的な取り組みを行うことができたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等の精選と充実を図り、生徒の主体的な活動を支援するとともにそのユニバーサルデザイン（以下UD）化をはかる。</p> <p>③生徒指導と生徒支援の一体化を推進し、教育相談体制の充実と外部連携を進める。</p>	<p>①部活動への積極的な参加・活動を支援し、自己実現や他者理解の姿勢・能力を育成する。</p> <p>②生徒会本部をはじめ各種委員会の主体的な活動を支援し、生徒の自主性やコミュニケーション能力の育成をはかる。</p> <p>③個の生徒に応じた生徒指導のあり方について検討し、見直しを行う。</p>	<p>①安全かつ円滑な部活動が行える環境整備に努め、良好な部活動加入率（70%）を維持し、実績の向上とともに人間形成の場として支援していく。</p> <p>②生徒会行事において、生徒の主体的な企画・運営が図れるように指導をしていくとともに、地域行事や近隣の学校等との交流への取り組みを通して、生徒の可能性を伸ばす。</p> <p>③生徒支援の視点を積極的に取り入れて、一人ひとりの生徒の特性と状況に応じた、柔軟な生徒指導について検討する。</p>	<p>①部活動への加入状況はどうだったか。各部および生徒一人ひとりが、それぞれの目標に向けて充実した活動が行えたか。</p> <p>②各行事・活動の企画・運営において、生徒の主体性が生かされ、相互理解を深める機会となったか。</p> <p>③生徒指導の方針について見直しを行い、生徒支援との一体化が進んだか。</p>

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	具体的な方策
3	進路指導・支援	<p>①生徒自身が体験し、考えていけるキャリア教育を計画的・段階的に実践する。</p> <p>②「実践推進校」として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p>	<p>①外部機関と連携し、学年に応じた進路学習を企画し、生徒の学びを支援する。</p> <p>②粘り強く進路の目標を達成しようとする姿勢を身につけさせる進路指導・支援に取り組む。</p>	<p>①生徒の希望や個性に応じたキャリア教育実践のための体験先を開拓する。</p> <p>②進路ガイダンスや進路相談日を活用して、生徒の進路に対する意識を高める。</p>	<p>①新たな体験先を開拓することができたか。キャリア教育実践のための計画を整備できたか。</p> <p>②生徒の進路に対する意識を高めることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>②地域と連携して、地域防災を推進する。</p>	<p>①ホームページ、説明会や配付資料を通して情報を発信する。</p> <p>②南足柄市等と連携し、災害時における対応を、検討・確認する。</p>	<p>①ホームページをできるだけ速やかに更新する。中学生・保護者対象の説明会では配付資料を作成し、新しい情報を載せる。</p> <p>②災害時における対応を南足柄市等との検討・確認を進め、マニュアルの改訂をはかる。</p>	<p>①ホームページの更新を月に1度以上行うことができたか。</p> <p>②マニュアルの検討・改訂ができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、組織的・計画的に改善していく体制を整える。</p> <p>②特に校内のバリアフリー化と教育活動のUD化を推進する。</p> <p>③不祥事防止に努め、実効性のある組織的な取り組みを行う。</p>	<p>①バリアフリーの見地に立ち、施設のあり方を検討する。</p> <p>③複数での点検確認等により、互いにミスを防ぐ組織づくりを行う。</p>	<p>①施設のあり方を見直し、対応できるものについてバリアフリーを進める。</p> <p>③風通しのよい職場環境づくりによって、不祥事防止に向けた組織的な取り組みを行う。</p>	<p>①リソースルームの整備やトイレの改修などにおいて、バリアフリーを進めることができたか。</p> <p>③事故・不祥事ゼロを達成することができたか。</p>